

専門基礎科目

授業科目	解剖生理学 I
開講時期	1年次 4月
単位数	1
時間数	30
担当講師	前田龍一郎(帯広畜産大学名誉教授)
科目 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1.人体の各レベルで構造と機能を関連して理解する視点を養う 2. 血液の組織と構成要素の機能について理解する 3. 自律神経と内分泌器官の機能について理解する 4. 生体の防御機構機能について理解する 5. 体温調節のメカニズムを理解する
授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 1)人体をどのように理解するか <ul style="list-style-type: none"> ・自然界の階層性とヒトの位置 ・人体各レベルでの構造と機能の関連 ・ホメオスタシス(恒常性) 2)人体の構成要素としての細胞・組織 2. 血液と血球の働き <ol style="list-style-type: none"> 1)血液の組成 2)赤血球 3)白血球 4)血小板と血液凝固 5)血液型 3. 内臓機能の調整 <ol style="list-style-type: none"> 1)自律神経による調節 <ul style="list-style-type: none"> ・自律神経の構造 ・自律神経の機能 ・神経伝達物質と受容体 2)内分泌系による調節 <ul style="list-style-type: none"> ・内分泌ホルモン ・ホルモンの化学構造と作用機序 3)内分泌腺と内分泌細胞 <ul style="list-style-type: none"> ・視床下部一下垂体系 ・甲状腺と副甲状腺 ・膵臓 ・副腎 ・性腺 ・その他の内分泌 4)ホルモン分泌の調節 <ul style="list-style-type: none"> ・調節に関係する器官 ・フィードバック機構とホメオスタシス 5)ホルモンによる調節の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・カルシウム代謝の調節 ・乳房の発達と乳汁分泌 ・血圧の調整 ・糖代謝の調節 ・ストレスとホルモン 4. 侵襲に対する防御 <ol style="list-style-type: none"> 1)皮膚の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の組織構造 ・皮膚の付属器 ・皮膚の血管と神経 ・皮膚の機能

授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 2) 生体の防御機構 <ul style="list-style-type: none"> ・非特異的防御機構 ・特異的防御機構 ・生体の防御機構に関係する臓器 5. 体温とその調節 <ul style="list-style-type: none"> ・体温の分布と測定 ・体温調節 ・発熱 ・高体温と低体温 					
	<table border="1"> <tr> <td>授業形式</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>テキスト</td> <td>専門基礎 解剖生理学(医学書院) 解剖生理学ワークブック(照林社)</td> </tr> <tr> <td>評価方法</td> <td>記述試験・講義小テスト(各50%ずつ)</td> </tr> </table>	授業形式	講義	テキスト	専門基礎 解剖生理学(医学書院) 解剖生理学ワークブック(照林社)	評価方法
授業形式	講義					
テキスト	専門基礎 解剖生理学(医学書院) 解剖生理学ワークブック(照林社)					
評価方法	記述試験・講義小テスト(各50%ずつ)					

専門基礎科目

授業科目	解剖生理学Ⅱ 呼吸器・循環器
開講時期	1年次 4月
単位数	1
時間数	30 呼吸器(13)・循環器(17)
担当講師	帯広厚生病院医師・帯広協会病院医師
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸としての各器官の構造を理解する。 身体と外界との間でガス交換が行われるメカニズムを理解する。 循環器としての血管系、リンパ系及び関係器官の構造を理解する。 循環系のメカニズムを理解する。 血圧・心拍・脈拍などの日常において身近な生理学的指標の意義を理解する。 体液の調整を司る腎臓の構造と働きを理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸器系の構造 <ol style="list-style-type: none"> 咽頭 2) 器官・気管支 3) 肺 胸膜・縦隔 呼吸機能 <ol style="list-style-type: none"> 呼吸のメカニズム 2) ガス交換 呼吸運動 循環器系の成り立ち <ol style="list-style-type: none"> 心臓 2) リンパ系 3) 体循環と肺循環 末梢循環器系 心臓の拍出機能 <ol style="list-style-type: none"> 心臓の興奮と伝播 2) 心電図 血液循環の調整 演習 【血圧測定】 <ol style="list-style-type: none"> 血圧測定の演習を実施する。 正常な心音・異常音の相違を教授する 腎臓の構造 腎臓の機能 尿の生成メカニズム 体液の調節と尿の生成 <ol style="list-style-type: none"> 水の出納 2) 脱水 電解質の異常 4) 酸塩基平衡
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 解剖生理学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	解剖生理学Ⅲ 消化器
開講時期	1年次 5月
単位数	1
時間数	15
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 消化器系としての各器官及び付属する腺の構造と働きを理解する。 生活現象としての食物摂取、消化、吸収、排泄のメカニズムを理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 栄養の消化と吸収 <ol style="list-style-type: none"> 口・喉頭・食道の構造と機能 咽頭と食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能 <ol style="list-style-type: none"> 胃の構造 小腸の構造 大腸の構造 胃における消化 小腸における消化 栄養素の消化 大腸の機能 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 <ol style="list-style-type: none"> 膵臓 肝臓と胆嚢の機能 腹膜 <ol style="list-style-type: none"> 腹膜と内臓の位置関係 腹膜と腸間膜 胃の周辺の間膜
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 解剖生理学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	解剖生理学Ⅳ (骨・筋肉) (感覚器・脳神経)
開講時期	1年次 9月
単位数	1
時間数	30 骨・筋肉(11) 感覚器・脳神経(19)
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	1. 人間の基本単位である細胞、組織、器官 学び、人体がどのように形成されている 理解する。 2. 骨格及び筋の構造と働きを学び、身体各 支持としての運動を司るメカニズムを理解する。 3. 情報や刺激の受容器としての感覚器の 構造と働きを理解する。 4. 情報処理及び伝達器官としての神経系 構造と働きを理解する。
授業内容	1. 人体とその構成 1) 人体の構成 2) 系統 3) 細胞 4) 細胞の種類とその構成 2. 骨格系 1) 骨 2) 骨格 3. 骨の連結 1) 骨関節の種類 2) 関節の構造と運動 4. 筋系 1) 骨格筋の形状と働き 2) 主な骨格筋 3) 姿勢と筋肉 4) 筋のあらまし 5) 筋の働きと変化 5. 情報の受容と処理 ・神経系の構造と機能 ・神経細胞と支持細胞 ・脊髄の構造と機能 6. 脊髄神経と脳神経 ・脊髄神経・脳神経の構造と機能 ・脳波と睡眠・記憶・高次機能 7. 感覚器
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 解剖生理学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	栄養学 (生化学) (栄養学)
開講時期	1年次 4月
単位数	2
時間数	45 生化学(24)・栄養学(21)
担当講師	生化学 小嶋道之(帯広畜産大学) 栄養学 保科慶子(栄養管理士)
科目目標	1. 生体を構成する物質の代謝について 学び人間の生命現象を科学的に理解する 2. 健康な生活を営む上で、栄養・食事の 意義と役割を理解する。 3. ライフサイクルにおける栄養について 理解する。
授業内容	1. 生体の成分 1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) 核酸 5) 水と無機質 6) ホルモン 2. 物質代謝 1) 代謝のあらまし 2) 酵素 3) ビタミンと補酵素 4) 糖質代謝 5) 脂質代謝 6) タンパク質代謝 7) 核酸代謝 3. 遺伝情報 4. 栄養学と看護 5. 栄養状態の評価・評定法 6. 栄養素の種類と働き 1) 炭水化物 2) 脂質 3) タンパク質 4) ビタミン 5) ミネラル 7. エネルギー代謝 1) 食品のエネルギー 2) 体内エネルギー 3) エネルギー消費 8. 食物摂取と消化吸収 1) 栄養素の消化 2) 栄養素の体内運搬 9. ライフサイクルと栄養
授業形式	講義
テキスト	わかりやすい生化学(ヌーベルヒロカワ) イメージできる臨床生化学 専門基礎 栄養学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	病理学Ⅰ (総論) (臨床検査)
開講時期	1年次 9月
単位数	1
時間数	30 病理学総論(26) 臨床検査(4)
担当講師	古岡秀文(帯広畜産大学) 帯広協会病院検査技師
科目目標	1. 疾患の要因について理解する。 2. 組織(細胞～器官)の病的変化について理解する。 3. 臨床検査の基礎について理解を深める。
授業内容	1. 病理学とは 2. 先天異常 1) 定義・原因 3. 奇形について 4. 遺伝子の生物学・遺伝子異常による疾患 5. 代謝障害 1) 萎縮・肥大・化生・壊死・代謝とは 2) 物質の沈着・脂質代謝障害 3) 蛋白質代謝障害・糖代謝障害 6. 循環障害 1) 充血・うっ血・虚血・血栓 2) 塞栓症・梗塞・ショック 7. 炎症とアレルギー 1) 炎症・主徴・経過・炎症の型・免疫の概念 2) 免疫不全・アレルギー 3) 自己免疫疾患 4) 細胞性免疫と液性免疫 8. 感染症 9. 腫瘍 1) 腫瘍の定義・悪性度・発生原理 10. 臨床検査
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 病理学(医学書院) 臨床検査 (メジカルフレンド社)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	病理学Ⅱ (呼吸器)・(循環器・腎) (泌尿器・男性生殖器)
開講時期	1年次 9月
単位数	2
時間数	45 呼吸器(15)・循環器・腎(22) 泌尿器・男性生殖器(8)
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	1. 呼吸器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 2. 循環器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 3. 腎疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 4. 泌尿器・男性生殖器における疾患の病態生理・検査・治療について理解する。
授業内容	1. 呼吸器疾患の主な症状と病態生理 1) 咳嗽 2) 喀痰 3) 喀血 4) 呼吸困難 5) チアノーゼ 6) 喘息 2. 主な検査 1) 画像 2) 内視鏡 3) 肺機能 3. 主な疾患の理解 1) 感染症 2) 肺炎 3) 気道狭窄 4) 呼吸不全 5) 肺腫瘍 6) 胸膜・縦隔の疾患 4. 感染症 主な感染症 5. 循環器疾患の主な症状と病態生理 1) 胸痛 2) 動機 3) 浮腫 6. 主な検査 1) 心電図 2) 画像 3) 心臓カテーテル 4) 血行動態モニタリング 7. 主な疾患の理解 1) 虚血性心疾患 2) 心不全 3) 不整脈 4) 血圧異常 5) 弁膜症 6) 心筋疾患 7) 肺性心 8) 動脈系疾患 9) 静脈系疾患 8. 腎不全(透析療法) 9. 原発性糸球体腎炎 1) ネフローゼ症候群 2) 糸球体腎炎 10. 糖尿病性腎症 11. 男性生殖の構造と働き 12. 主な症状とその病態生理 1) 尿の異常 2) 排尿異常 3) 浮腫 13. 主な検査 1) 経尿道的検査 2) 男性生殖器検査 14. 主な疾患の理解 1) 尿路・性器の感染症 2) 尿路の通過障害と機能障害 3) 尿路結石症 4) 尿路・性器の腫瘍
授業形式	講義
テキスト	専門 成人看護学2・3・8(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	病理学Ⅲ (消化器) (アレルギー・膠原病) (内分泌・代謝) (血液造血器) (女性生殖器)
開講時期	1年次 9月
単位数	2
時間数	45
	消化器(12) アレルギー・膠原病(6) 内分泌・代謝・血液・造血器(15) 女性生殖器(12)
担当講師	帯広協会病院医師
科目目標	1. 消化器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 2. アレルギー疾患の病態生理・治療について理解する。 3. 膠原病の病態生理・検査治療について理解する。 4. 内分泌、代謝疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 5. 血液・造血器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 6. 女性生殖器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。
授業内容	1. 消化器疾患の症状と病態生理 1) 嚥下困難 2) 嘔気 3) 腹痛 4) 吐血・下血 5) 腹水 6) 黄疸 7) 門脈圧亢進 2. 主な検査 1) 造影検査 2) 内視鏡検査 3) 生検 3. 主な疾患の理解 1) 食道疾患 2) 胃十二指腸疾患 3) 腸及び腹膜疾患 4) 肝臓・胆嚢疾患 5) 膵臓疾患 4. アレルギー反応と機序 5. 診断と治療 1) 薬物療法 2) 脱感作療法 3) アナフラキシーショック 6. 自己免疫疾患とは 7. 検査と治療 1) 免疫学的検査 2) 薬物療法 8. 疾患理解 1) SLE 2) 全身性硬化症 3) 関節リウマチ 9. 内分泌代謝疾患の検査 10. 主な疾患の理解 1) 下垂体系疾患 2) 甲状腺・副甲状腺疾患 3) 副腎疾患 4) 糖尿病 5) 高脂血症 6) 尿酸代謝障害 11. 血液・造血器疾患の検査 1) 血液 2) 骨髓穿刺 12. 主な疾患の理解 1) 赤血球系の疾患 2) 白血球系の疾患 3) リンパ網系疾患 4) 異常蛋白血漿 5) 出血性疾患

授業内容	13. 女性生殖器の構造と働き 14. 主な症状と病態生理 1) 出血 2) 帯下 3) 疼痛 4) 下腹部膨満 5) 外陰部搔痒 6) 排尿障害 15. 診療・検査・治療	
	16. 主な疾患の理解 1) 外陰部・膣・子宮の疾患 2) 卵巣の疾患 3) 月経異常 4) 更年期障害 5) 性行為感染症 6) 不妊症	
	授業形式	講義
	テキスト	専門 成人看護学4・5・6・9・11 (医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)	

専門基礎科目

授業科目	病理学Ⅳ (脳神経) (運動器)
開講時期	1年次 9月
単位数	1
時間数	30
	脳神経(18) 運動器(12)
担当講師	帯広協会病院 医師
科目目標	1. 運動器疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 2. 脳神経疾患の病態生理・検査・治療について理解する。
授業内容	1. 運動器疾患の症状と病態生理 2. 主な診断・検査・治療 3. 主な疾患の理解 1) 先天性疾患 2) 骨折 3) 脱臼 4) ねんざ・打撲 5) 骨・関節の炎症性の疾患 6) 腫瘍 7) 骨系統疾患 8) 筋・腱の疾患 9) 麻痺性疾患 10) 脊椎の疾患 4. 脳神経疾患の主な症状と病態生理 5. 主な検査と治療 6. 主な疾患の理解 1) 脳疾患 2) 脊髄疾患 3) 末梢神経系疾患 4) 神経・筋疾患 5) 脳・神経系の疾患 6) 中毒 7) 外科・内科的治療
授業形式	講義
テキスト	専門 成人看護学7・10 (医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	病理学Ⅴ (皮膚) (耳鼻咽喉)・(眼)
開講時期	3年次 10月
単位数	1
時間数	30
	皮膚(10)・耳鼻咽喉(10) 眼(10)
担当講師	皮膚:帯広厚生病院医師 耳鼻咽喉:石井歆 眼:帯広協会病院医師
科目目標	1. 皮膚疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 2. 耳鼻咽喉疾患の病態生理・検査・治療について理解する。 3. 眼疾患の病態生理・検査・治療について理解する。
授業内容	1. 皮膚疾患の主な症状と病態生理 2. 主な検査・治療・処置 3. 主な疾患の理解 1) 表在性皮膚疾患 2) 真皮・皮下脂肪・組織及び皮膚付属器疾患 3) 物理・科学的皮膚障害 4. 耳鼻咽喉疾患の主な症状と病態生理 5. 主な検査と治療処置 6. 主な疾患の理解 1) 耳疾患 2) 鼻疾患 3) 咽喉頭疾患 4) 気道・気管疾患 7. 眼疾患の主な症状と病態 8. 主な疾患の理解
授業形式	講義
テキスト	専門 成人看護学12・13・14 (医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	病理学Ⅵ (臨床外科総論) (臨床外科各論)
開講時期	1年次 10月
単位数	1
時間数	30
	総論(15) 各論(15)
担当講師	帯広協会病院 医師
科目目標	1. 手術侵襲と生体の反応と必要な管理を理解する。 2. 麻酔及びその管理について理解する。 3. 救急処置の実際を理解する。 4. 各系統別・疾患別における手術の適応および起こりやすい問題と術後管理に理解する。
授業内容	1. 手術侵襲と生体の反応 2. 酸素療法と機械的人工換気 3. 体液・栄養管理 4. 麻酔の目的 5. 麻酔前の準備 6. 麻酔の種類と管理 7. 術後合併症と予防 8. 救急蘇生法の実際 9. 外科的疾患の救急処置 10. 各疾患の手術管理 11. 演習 ① 蘇生人形による気道確保・心臓マッサージ・AEDのデモンストレーションを見学する ② インストラクター指導のもと、蘇生人形で気道確保・心臓マッサージ・AED使用の演習を実施する
授業形式	講義
テキスト	臨床外科総論(医学書院) 臨床外科各論(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	微生物学
開講時期	1年次 8月
単位数	1
時間数	30
	ウイルス・感染防御(10) 細菌(20)
担当講師	今井邦俊(帯広畜産大学名誉教授) 山崎栄樹(帯広畜産大学)
科目目標	1. 病原微生物と感染についての概要を理解する。 2. 病態微生物の種類とそれぞれの特徴を理解する。
授業内容	1. 微生物学の基礎 1) 微生物と微生物学 2) 細菌の性質 3) 真菌の性質 4) 原虫、ウイルスの性質 2. 感染とその防御 1) 感染と感染症 2) 感染に対する生体防御機構 3) 感染経路 4) 感染の予防 5) 感染治療 3. 主な病原微生物 1) 細菌と細菌感染症 2) 真菌と真菌感染症 3) 原虫感染症 4) ウイルスと感染症
授業形式	講義・細菌学演習
テキスト	微生物学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	薬理学
開講時期	1年次11月
単位数	1
時間数	30
担当講師	帯広協会病院薬剤師
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理作用の機序を理解する 2. 各製剤の人体への作用・副作用及び投方法を理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学総論 2. 薬理作用と人体の影響 3. 薬物管理 4. 各製剤の人体への作用・副作用・投与方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 抗感染症薬 2) 抗がん薬 3) 免疫治療薬 4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5) 末梢での神経活動に作用する薬剤 6) 中枢神経系に作用する薬剤 7) 心臓・血管系に作用する薬物 8) 呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物 9) 物質代謝に作用する薬物 10) 救急薬物 11) 消毒薬
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 薬理学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	保健医療論
開講時期	1年次 4月
単位数	1
時間数	15
担当講師	学校長(帯広協会病院院長)
科目目標	1. 人々の健康に関する医学・医療の目的や役割を理解する。 2. 我が国の保健医療の現状と課題を理解する。
授業内容	1. 医学・医療の変遷 2. 健康と疾病 3. 医学・医療 4. 我が国の医療供給体制 5. 現代の医療における諸問題
授業形式	講義
テキスト	現代医療論(メヂカルフレンド社)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	社会福祉
開講時期	2年次 4月
単位数	2
時間数	30
担当講師	帯広協会病院ケースワーカー
科目目標	1. 社会福祉、社会保障の概念を理解する。 2. 社会福祉の分野とサービスの内容を理解する。 3. 医療と社会福祉の現状と課題について理解する。
授業内容	1. 社会福祉の概念 1) 意義と目的 2) 歴史的背景と発展 3) 社会福祉制度 2. 社会福祉の歴史と展望 1) 日本における社会福祉の展開 2) 戦後の社会福祉の総括と福祉改革 3. 社会保障の理念 1) 日本保健医療福祉の活動の基本方向 2) 理念・憲法第25条 3) ノーマライゼーション 4. 社会保険制度 1) 医療保障制度 ※公費負担医療 2) 介護保障制度 3) 所得保障制度 4) 公的扶助 5. 社会福祉諸法の理念と施策 1) 社会福祉とは 2) 社会福祉の理念と変遷 3) 生活保護制度と動向 4) 高齢者福祉 5) 障害者福祉 6) 児童家庭福祉 6. 社会福祉と医療・看護 1) 関連の重要性 2) 他部門との関連と今日的課題 3) 事例に基づいた演習・グループワーク
授業形式	講義
テキスト	専門基礎 社会福祉(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

専門基礎科目

授業科目	関係法規
開講時期	2年次 4月
単位数	2
時間数	30
担当講師	紺野圭太(帯広刑務所医師) 専任教員
科目目標	1. 医療関連法規を理解する。 2. 看護領域に関連する衛生関係法規を理解する。
授業内容	1. 医療関連法規を理解する。 1) 健康支援と法律 2) 医療の提供に関連する法律 ① 看護職以外の医療職種に関連する法律 ② 医療施設に関連する法律 3) 疾病予防・健康増進に関連する法律 ① 健康増進法 ② 地域保健法 ③ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ④ 検疫・予防接種・インフルエンザ ⑤ 臓器移植に関する法律 他 4) 医薬品・医療機器・食品等に関連する法律 ① 医薬品・医療機器に関連する法律 ② 食品に関連する法律 2. 看護領域に関連する法律 ① 保健師助産師看護師法 ② 看護師等の人材確保の促進に関する法律 ③ 医療保険に関する法律 ④ 労働に関する法律 ⑤ その他医療に関連する法律 3. 環境法(水道法・下水道法)
授業形式	講義
テキスト	看護関係法令(医学書院) 公衆衛生がみえる第3版(メディックメディア)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	公衆衛生学
開講時期	3年次 4月
単位数	1
時間数	15
担当講師	今井邦俊(帯広畜産大学名誉教授)
科目目標	1. 公衆衛生の動向と地域社会における組織的な保健活動を理解し、集団における健康状態を把握する視点を養う。
授業内容	1. 公衆衛生の言葉の持つ意味と歴史 2. 公衆衛生のしくみ 3. 健康問題と環境の関連 4. 集団の健康をとらえる指標 5. 地域保健 ・難病支援・障害支援
授業形式	講義
テキスト	公衆衛生学(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)